

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	デイサービス夢いしかわ	
建設地	江南区 曙町3丁目124-1・124-4	
用途地域	準工業地域	
建物用途	病院,	
竣工年	2015年12月 竣工	
敷地面積	3,813.29 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,054.76 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,819.00 m <sup>2</sup>	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2015年4月20日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{41.8}{41.5} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.7		バリアフリー	Q2.1.1.3 1.0
			維持管理	Q2.1.3 4.0
			更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.8		建物の熱負荷抑制	LR1.1 4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1 3.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1 3.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 1.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の取組み: 維持管理しやすい建材を使用。
- 地震への取組み: 建築基準法に定められた耐震性を有する。
- 大雨への取組み: 指導に沿った雨水抑制を計画
- 自然エネルギー利用の取組み: 開口部を複層Low-Eガラスを採用。LED照明を採用。
- 資源循環の取組み: 敷地内の既存建物を解体せず使用する。

# CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	デイサービス夢いしかわ	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市江南区	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	125 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,300 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 竣工	評価の実施日	2015年4月20日
敷地面積	3,813 m <sup>2</sup>	作成者	田中 章
建築面積	2,055 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,819 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (120 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84% (100.8 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 84% (100.8 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 84% (100.8 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.6**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 当施設は夏の暑さ冬の寒さに耐え得るように、省エネ性の高い建材・機器を採用し、施設内の歩行用プールや、吹き抜けのある広い空間で快適にリハビリに励むことができるよう配慮した。		<b>その他</b> 残土は埋戻しに使用して場外に出さない。
<b>Q1 室内環境</b> 使用建材にはF☆☆☆☆を全面的に使用し、シックハウス対策を徹底した。また、施設内感染を防ぐため、各エアコンに加湿器を取り付けている。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理に配慮した建材を使用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 機能上必要な施設を除いた部分に、極力緑地を設け、施設利用者さんのための畑スペースを確保している。
<b>LR1 エネルギー</b> 居室の窓部には複層ガラスを採用し、外皮の断熱強化により建物の熱負荷抑制に努め、建物の省エネルギー性を高めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 敷地内に既存建物があるが解体せずに継続使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 外皮の断熱強化や照明はLEDランプを採用し、LCCO <sub>2</sub> 排出量の削減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される